

放課後子ども教室だよ

いわね遊友クラブ訪問

令和2年12月2日(水)訪問

○開設年度	平成20年	○参加者	対象学年：1～2年生
○活動場所	本宮市岩根地区公民館	○登録スタッフ	登録児童数：17名
○実施回数	22回	○登録スタッフ	9名 ※安全管理員・活動指導員の兼務
○実施時間	4時間 水曜日 (12:30～16:30)	○活動内容	工作や折り紙などの造形活動 おはなし会 季節行事 キンボール等

遊びながら成長しています

本宮市の放課後子ども教室（遊友クラブ）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は9月から開校しています。

訪問当日の活動は、「五目ならべ」でした。ほとんどの子どもたちにとっては、初めての体験でした。最初にコーディネーターとスタッフが子どもたちに分かるよう、実際に五目ならべをしながらルールの説明をしました。

遊び方に慣れてきた子どもたちは、対戦相手が考えているのをじっと待つことができるようになり、負けてしまっても「もう一回！」と言ってチャレンジするようになっていきました。対戦型のゲームを行うことを通して、子どもたちの心が少しずつ成長していると感じられました。

コーディネーターやスタッフも、子どもたちといっしょになって五目ならべを行い、ゲームの中でほめたり励ましたりしながら、子どもたちと関わっていました。やり方が分からない子へスタッフが「こうやるといいよ」と教えてあげることで、その子が自信をもってほかの友達と対戦する姿も見られました。子どもたちとコーディネーターとの心の距離がとても近いように感じました。

学校でも家庭でもない場所で、のびのびと過ごしたり、スタッフなど地域の方と関わったりすることができることは、子どもたちの成長のために必要であると実感した訪問でした。



子どもたちのために 時間を有効活用しています

コーディネーターとスタッフが集まることのできる機会が限られているので、時間を有効活用して準備をしているそうです。

訪問当日は、初めて五目ならべを行う子どもたちが短時間にルールを理解することができるように、事前に提示用の大きな碁盤や碁石を作成しました。

いわね遊友クラブのスタッフのみなさんは、子どもの立場に立って考え、時間を上手に活用して活動を進めています。



コロナ禍における 活動のヒント

いわね遊友クラブでは、新型コロナウイルス感染症予防対策として、玄関での手指消毒と受付での検温のほかに、子どもたちにトイレ使用後にドアノブを素手でさわらないように指導しています。岩根地区公民館を使用する際には、「トイレで手を消毒したときに使った紙タオルでドアノブを包んでドアを閉めるように」という約束事があります。子どもたちもルールをしっかりと守っているそうです。

本宮市では、昨年度まで対象児童を1～4年生としていましたが、今年度は密になる状況をできるだけ作らないようにするため、1～2年生対象としています。いわね遊友クラブコーディネーターの増子さんは「たくさんの学年での交流はできないのですが、2年生がしっかりとってきたように感じます。子どもたちが自分のよさを発揮している様子を見ると、この状況もいいことであると前向きにとらえています。」と話していました。